



【先週 12月5日～12月11日の外食の出来事】

■ゼンショー、社債150億円発行へ 3年ぶり

ゼンショーホールディングス(HD)は12月にも普通社債で150億円を調達する。5年債50億円と3年債100億円を発行する。調達した資金は、設備投資向けとして2018年12月に調達した社債の借り換えに充てる方針。

■うかい、上半期(2021年4月～9月)の業績

2022年3月期 第2四半期(2021年4月～9月)の業績を発表。売上高40億2400万円(前年同期比22.2%増)、営業損失10億7900万円(-)、経常損失6億2000万円(-)、四半期純損失6億2800万円(-)であった。

■餃子の王将、11月も2ヶ月連続で過去最高

直営全店売上高は66億42百万円、102.2%。既存店売上高は64億79百万円、100.5%。店内売上が96.5%まで戻す一方、テイクアウト・デリバリー売上が114.7%となったことに因る。

■フライングガーデン、上半期(2021年4月～9月)の業績

2022年3月期 第2四半期の業績を発表。売上高30億9600万円(対前年同期比16.0%増)、営業利益6700万円(-)、経常利益2億5200万円(-)、四半期純利益1億5600万円(-)と増収増益を確保した。

■くら寿司、売上高が過去最高 積極出店奏功 21年10月期

2021年10月期連結決算は、売上高が前期比8.7%増の1475億円と過去最高を更新した。国内外での積極出店が奏功したほか、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で持ち帰りの販売も好調だった。

■ドミノ・ピザ、店舗数倍増1600店 26年、宅配拡大見込む

ドミノ・ピザジャパン(東京・千代田)は出店を加速させる。現在約850ある店舗数を2026年には2倍弱の1600店舗に増やす。外出自粛で料理の宅配を楽しむ習慣が定着し、今後も需要拡大が見込めるためだ。

■居酒屋で苦戦するワタミが「寿司」に初参入

ワタミは12月9日に、新ブランドとなる寿司と焼き鳥を主力とした「すしの和」1号店を東京都内にオープンすると発表した。ウイズコロナ時代の新しい外食ニーズに対応するのが狙いで、寿司業態に参入するのは初となる。

■すかいらーく、酒類年内99円 全国で、家族や1人客獲得へ

すかいらーくは9日から31日まで、全国約2250店舗で酒類を99円(税込み)で販売する。大半が通常の半額以下になる。新型コロナウイルス禍で大人数の忘年会需要が下火になるなか、家族や1人客の需要の獲得を狙う。